



(題字 時澤 貢 学長)

第407号  
(平成10年11月号)



▲平成10年度教職員文化展：平成10年11月4日(水)～6日(金)

## 目 次

関係法令	3	◆ 富山県教育委員会との連絡協議会を開催 (教育学部)	11
学内規則	3	◆ 「ヘルン文庫」に関する公開講座を開設 (附属図書館)	11
諸会議	5	◆ 「ヘルン文庫来富75年展」を公開	11
学 事		◆ 学内レクリエーション(バドミントン大会, 卓球大会, ボウリング大会)を実施	12
◆ 学位取得者	6	◆ 海外渡航者	13
人事異動	7	◆ 外国人来訪者	14
学内諸報		職 員 消 息	
◆ 叙勲	7	◆ 住所変更	14
◆ 教職員文化展を開催	9	◆ 改姓	14
◆ 就職に関する講演会を開催	9	主 要 行 事	15
◆ 大学開放の在り方を考えるフォーラムを開催	10		

## 関 係 法 令

- |  |  |
|--|--|
| <p>(政 令)</p> <p>○日本体育・学校健康センター法施行令の一部を改正する政令(364) (平10.11.9 官報第2503号)</p> <p>(省 令)</p> <p>○国立学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令(文部37) (平10.11.2 官報第2499号)</p> <p>○学校教育法施行規則等の一部を改正する省令(同38) (平10.11.17 官報号外第237号)</p> <p>○日本体育・学校健康センター法施行規則の一部を改正する省令(同40) (平10.11.19 官報号外第239号)</p> <p>(規 則)</p> <p>○セクシュアル・ハラスメントの防止等(人事院10-10) (平10.11.13 官報第2507号)</p> | <p>○育児又は介護を行う職員の深夜勤務の制限(同10-11) (同上)</p> <p>(告 示)</p> <p>○平成11年度科学研究費補助金奨励研究(B)の計画調書の提出期間等を定める件(文部151) (平10.11.2 官報第2499号)</p> <p>○中等教育学校並びに併設型中学校及び併設型高等学校の教育課程の基準の特例を定める件(同154) (平10.11.17 官報号外第237号)</p> <p>○高等学校に2年以上在学した者に準ずる者を定める件の一部を改正する件(同155) (同上)</p> |
|--|--|

## 学 内 規 則

### 富山大学国際交流会館規則の制定

#### 富山大学国際交流会館規則の制定理由

富山大学に、外国人留学生及び外国人研究者に居住の場を提供し、もって、教育研究の国際交流の推進に寄与することを目的として、富山大学国際交流会館を設置することに伴い、所要事項を定める。

富山大学国際交流会館規則を次のとおり制定する。

平成10年11月20日

富山大学長 時 澤 貢

#### 富山大学国際交流会館規則

- (設 置)
- 第1条 富山大学(以下「本学」という。)に、富山大学国際交流会館(以下「会館」という。)を置く。
- (目 的)

第2条 会館は、外国人留学生(以下「留学生」という。)及び外国人研究者(以下「研究者」という。)に居住の場を提供し、もって、教育研究の国際交流の推進に寄与することを目的とする。

(職 員)

第3条 会館に、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) 館長  
(2) その他必要な職員  
(館長)
- 第4条 館長は、学生部長をもって充てる。
- 2 館長は、会館の業務を掌理する。  
(運営委員会)
- 第5条 会館の管理運営に関する重要事項を審議するため、富山大学国際交流会館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。
- 第6条 運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。
- (1) 会館の管理運営に関すること。  
(2) 入居者の選考及び入居許可の取消しに関すること。  
(3) その他会館に関する重要事項
- 第7条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。
- (1) 館長  
(2) 国際交流委員会学術交流部会長  
(3) 各学部から選出された国際交流委員会委員 各1人  
(4) 留学生専門教育担当教員及び日本語・日本事情担当教員  
(5) 庶務部長  
(6) 学生部次長
- 第8条 運営委員会に委員長を置き、館長をもって充てる。
- 2 委員長は運営委員会を招集し、その議長となる。  
3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員が、その職務を代行する。
- 第9条 運営委員会は、構成員の半数以上が出席しなければ開会できない。
- 2 運営委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長がこれを決する。  
(意見の聴取)
- 第10条 運営委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。  
(入居資格)
- 第11条 会館に入居する資格を有する者は、次の各号の一に掲げる者とする。
- (1) 本学に在籍する留学生及びその家族  
(2) 本学で研究に従事する研究者及びその家族  
(3) その他館長が適当と認めたる者  
(入居期間)

第12条 会館に入居することのできる期間（以下「入居期間」という。）は、原則として、留学生にあっては3月以上1年以内、研究者にあっては1月以上1年以内とする。ただし、館長がやむを得ない事由があると認めるときは、1年以内を限度として入居期間を延長することができる。

(入居申請及び許可)

第13条 会館に入居を希望する留学生又は研究者は、所属部局の長を経て館長に入居の申請をするものとする。ただし、館長がやむを得ない事由があると認めるときは、代理の者が入居の申請をすることができる。

2 会館に入居する者の選考及び許可は運営委員会の議を経て館長が行う。

3 前項の規定により入居の許可を受けた者は、所定の期限内に入居の手続きをしなければならない。

(寄宿料及び使用料)

第14条 入居者は、留学生にあっては寄宿料を、研究者にあっては使用料を所定の期日までに納付しなければならない。

2 納付した寄宿料又は使用料（以下「寄宿料等」という。）は、還付しない。

3 入居者は、寄宿料等のほか、光熱水料その他必要な経費を負担しなければならない。

(入居許可の取消し)

第15条 館長は、入居者が次の各号の一に該当するときは、入居の許可を取り消すことができる。

(1) 正当な理由なく、所定の期間内に入居しないとき。

(2) 前条に規定する寄宿料等を納付しないとき。

(3) 第18条に規定する遵守事項に違反したとき。

(4) 第20条に規定する義務を履行しないとき。

(5) その他会館の管理運営に著しい支障を与えたとき又は与えるおそれがあると認めるとき。

2 前項の規定により入居の許可を取り消された者の被る損失については、本学はその責を負わない。

(退去)

第16条 入居者が次の各号の一に該当するときは、速やかに会館から退去しなければならない。

(1) 入居期間が満了したとき。

(2) 第11条に規定する入居資格を失ったとき。

(3) 前条第1項の規定により、入居の許可を取り消されたとき。

(退去手続)

第17条 入居者が会館を退去するときは、退去届を館長に提出しなければならない。ただし、第15条第1項の

規定により入居の許可を取り消された者にあつては、この限りでない。

(遵守事項等)

第18条 会館を使用する者は、会館の施設設備の保全、防火、保健衛生、災害防止及び秩序の維持に留意し、快適な環境の保持に努めるとともに、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 会館に入居者以外の者を宿泊させないこと。
- (2) 居室を他の者に転貸したり、住居以外の目的に使用しないこと。
- (3) 居室の改造、模様替等により、原状を変更しないこと。
- (4) 居室の設備、備品等を居室外に持ち出さないこと。
- (5) その他会館の施設等を許可された目的以外に使用しないこと。

(共用施設の使用)

第19条 会館の多目的室を使用するときは、館長の許可を受けなければならない。

(賠償義務)

第20条 会館を使用する者は、故意又は過失により会館

の施設、設備及び備品等を滅失、破損又は汚損したときは、速やかに館長に届け出るとともに、遅滞なくこれを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(生活相談員)

第21条 会館に、入居者の生活上の諸問題に関する相談を受け、必要な助言を行うため、必要に応じて、生活相談員を置くことができる。

2 生活相談員は、運営委員会委員のうちから、館長が委嘱する。

(事務)

第22条 会館及び運営委員会に関する事務は、学生部学生課において処理する。

(雑則)

第23条 この規則に定めるもののほか、会館の運営に関し必要な事項は、運営委員会の議を経て館長が定める。

附 則

この規則は、平成10年11月20日から施行する。

## 諸 会 議

第4回教務委員会(11月6日)

(審議事項)

- (1) 平成11年度非常勤講師任用計画の策定方針について
- (2) 授業料未納による除籍の取扱いについて
- (3) その他

第4回留学生会館運営委員会(11月11日)

(議 題)

- (1) 平成10年11月留学生会館の入居選考について
- (2) その他

第4回入学試験委員会(11月13日)

(審議事項)

- (1) 平成11年度富山大学学生募集要項(追加)(案)について
- (2) その他

第3回授業料等減免選考委員会(11月13日)

(議 題)

- (1) 平成10年度後期分授業料免除者の選考について
- (2) その他

第109回構内交通対策委員会(11月17日)

(議 題)

- (1) 交通安全一斉指導及び無許可車両・駐停車違反車両の一斉取締りの実施結果について
- (2) 富山大学五福地区交通安全会について
- (3) 当面の諸問題について
- (4) その他

第3回入学試験実施委員会(11月17日)

(審議事項)

- (1) 平成11年度入学試験判定資料の様式について
- (2) 平成11年度富山大学特別選抜実施要項(案)について
- (3) 平成11年度大学入試センター試験富山大学試験場

の実施体制について

- (4) 平成11年度富山大学入学試験業務予定について
- (5) その他

#### 第7回事務協議会（11月17日）

（議 題）

当面の諸課題について

#### 第2回国際交流委員会（11月18日）

（審議事項）

- (1) 留学生センター設置準備委員会要項（案）について
- (2) 国際交流会館管理要員の配置について
- (3) 学術交流協定について
- (4) その他

#### 第9回部局長懇談会（11月20日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

#### 第11回評議会（11月20日）

（審議事項）

- (1) 富山大学国際交流会館規則の制定について
- (2) 学生の懲戒について

(3) 学生の除籍について

(4) その他

#### 第4回自己点検評価委員会（11月20日）

（審議事項）

- (1) 研究者総覧について
- (2) その他

#### 第7回学生生活協議会（11月27日）

（審議事項）

- (1) 平成11年度入学合格者へのダイレクトメール送付にかかるあて名の書き写しについて
- (2) 第44回（平成11年度）大学祭について
- (3) その他

#### 第5回環日本海地域研究センター運営委員会（11月27日）

（協議事項）

- (1) 研究プロジェクトの選考について
- (2) 研究年報の原稿募集について
- (3) その他

#### 第3回学園ニュース編集委員会（11月30日）

（審議事項）

- (1) 第98号の編集内容について
- (2) その他

学

事

## 学 位 取 得 者



学位取得者	経済学部 講師 馬 駿
学位の種類	博士（経済学）（京都大学）
取得年月日	平成10年11月24日
学位論文名	日本企業の内部における技能形成とインセンティブシステムに関する実証研究 －組織経済理論からのアプローチ－
論文の要旨	この論文は、日本製造業の代表的企業2社におけるブルーカラー従業員に関する人的資源管理システムを中心に行った実証研究を通し、次の仮説を検証しようとしたものである。すなわち、日本企業の内部において、基本的技能、

統合的技能、組織的技能といった技能を従業員に計画的、かつ漸進的に形成させていく方針がとられている。そして、以上のように技能を形成させるため、各段階ごとに異なるインセンティブの与え方を組み合わせたダイナミックな昇格昇給システムと評価システムがデザインされている。

# 人 事 異 動

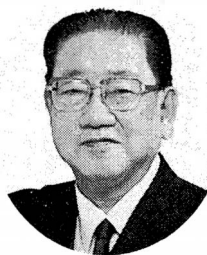
異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異動内 容
退職	10.12.1	高松典子	人文学部・理学部学務第二係	平成10年11月30日限り任期満了により退職
育児休業	10.12.1	中村良恵	人文学部・理学部学務第二係	職務復帰
職務命令	10.11.20	秦文男	庶務部長	工学部事務長事務代理を免ずる

# 学 内 諸 報

## 叙 勲

去る11月3日付けで、平成10年秋の叙勲が発表され、本学関係では次の方々を受章されました。

### 名誉教授 田中専一郎 勲三等旭日中綬章



この度の叙勲に際し、いろいろとお世話になりました。ここに心から御礼申し上げます。

これを機会に富山大学におりました頃のことを一二書かせていただければ幸いに存じます。

本学には、昭和33年にまいりましたが、昭和38年から月1回午後到大谷技術短大で、ゼミの学生実習のため電子計算機を使用させていただきました。数学の学生には、電子計算機が向いていることが分かりました。富山大学にも電子計算機を設置したいという話が、工学部の故長元先生からありました。この話がもとで昭和40年に富山大学計算センターが設立され、その時からセンター長を12年間務めました。その後センターは総合情報処理センターへと大きく発展いたしました。

もう一つは、昭和60年秋に富山大学で日本数学会の全国大会を開催したことです。数学会が、本州の日本海側の都市で開催されたのは、富山大学が初めてです。この学会から工夫し改めたこともあります。大学本部をはじめ、各学部には会場その他のことで、大変お世話になりました。また全学の数学関係の教職員全員が長期にわたり一致協力し、最善の努力を尽くしたことは今も忘れることが出来ません。

この叙勲のため、多くの方々からお祝いの言葉を賜りました。大変光栄に存じております。

## 名誉教授 廣岡脩二 勲三等旭日中綬章



このたびは、勲三等旭日中綬章を拝受し、身に余る光栄と感謝いたしております。また、皆様方からの温かいご祝辞の数々で胸が一杯でございます。私にとりまして、この感激は、一生忘れることのできないものであります。

富山大学に奉職中に携わった教育、研究の跡を顧みますと、ただただ馬齢を重ねたに過ぎず、皆様に対して報いるところはなはだ乏しく、まことに恐縮に存じております。

いうまでもなく、この勲章を頂いたのは、大学在職中の諸先輩、同僚、学生の皆様のほか私の存じ上げている方々皆様のお力でございます。皆様方から頂戴したご厚意、ご援助、ご協力の賜と、心から感謝申し上げる次第であります。

これからも、健康に留意して、お寄せいただきましたご厚情にお報いすべく努めたいと存じますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

富山大学の今後ますますのご発展をご祈念申し上げます。

## 元事務局長 西村 清 勲四等旭日小綬章



これまで勲章というものを頂戴出来るものと思っていなかったのに、叙勲の内示があったときには、全身が熱くなる感動を覚えた。70歳の年輪を重ねてきたが、勲章を賜る程社会に貢献したことがあったのだろうかと思ひ返ってみるがどうもそれらしいことは思い出せない。

若い頃から大学にお世話になり自由奔放に生きてきたが、幸い多くの教職員と出逢い、夫々の方々から温かい御交誼を賜り学ぶところが非常に多く、私の人格形成に大変な影響を与えられたものがあつたと思う。

今日勲章を戴くことは、これら多くの御支援を賜ったお陰のものであり、私個人の力でないと信じている。感謝の念で一杯であるが、茲にもう一人熱烈に支えてくれた裏方さんが居たことを忘れてはならない。それは家内である。新婚早々から帰宅するのは午後の12時頃、たまの休みは釣り等の趣味に没頭し、家に落ち着くことが減多になかった30年間を苦情も云わずに家庭を守ってくれた母ちゃんである。この度は初めて有り難うと口に出して云うつもりである。これからの余生を社会に積極的に貢献するつもりであるが、身体がどれだけ続くかが問題である。

## 元文部事務官 高安芳枝 勲七等宝冠章



こつこつと、一つの道に精進したお陰で受章できました。これも偏に同僚はじめ教職員の皆様のご指導とご鞭撻があつたこそであります。いまさらながら皆様のご温情に深く感謝を申し上げますとともに心から厚くお礼申し上げます。

思い起こせば、36年間の永きにわたり電話交換手として勤めさせていただきました。その間電話を通じての会話がほとんどですが、何万人もの人々との出会いがあり、そして友として今でもお付き合いさせていただいている方々もおります。私にとっては宝です。

つれづれなるままに、今後もこつこつと生きていきたいと思っております。ありがとうございました。



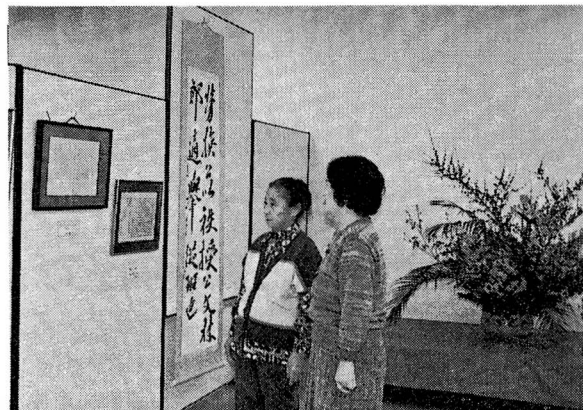
## 《教職員文化展を開催》

平成10年度教職員文化展が、去る11月4日(水)から6日(金)までの3日間黒田講堂会議室で開催されました。

この文化展は、本学教職員及びその家族からの出品を広く募り、毎年多くの作品が展示されています。今年も華道、組紐、手芸、書道、絵画、盆栽、盆景、写真、銅像、スタンドグラスなど多種にわたる力作・秀作が会場

一杯に展示され、教職員の日ごろ知られていない趣味・特技が披露され、訪れた多くの教職員が目を見張り、感嘆の声を上げていました。

また、期間中一般市民の方々も見学を訪れ、穏やかな芸術の秋のひとつを、それぞれが楽しんでいました。



▲会場に展示された作品に見入る教職員

## 「就職に関する講演会」を開催

本学学生に対する就職に関する講演会を、去る11月11日(水)から4週間にわたり週1回開催しました。

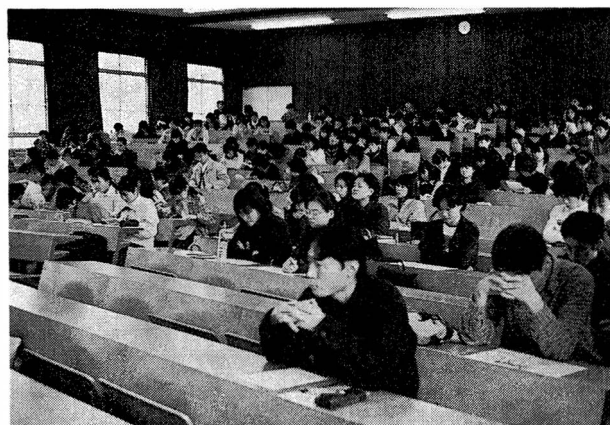
これは学生の就職支援活動の一環として、全学を対象に従来1月以降に開催してきましたが、平成9年度からの就職協定の廃止に伴い、企業の採用活動の早期化、長期化あるいは採用方法の多様化が見られたことから、学生に早く職業意識を持たせるため、前倒しして開催したものです。

講演会は、就職情報全般(11月11日(水))、国家公務員採用試験や任用制度(11月17日(水))、面接の重要性(11月25日(水))、仕事と育児の両立(11月30日(月))について、学外の講師により懇切丁寧な講演、体験発表・模擬面接などがあり、就職の厳しさを反映してか関心が高く、4日間で延べ430人の学生が参加し、用意した座席が足りない会場もありました。

折からの景気の先行き不透明感から、就職戦線の深刻さは「超氷河期」以上とさえ言われるなか、不安そうな学生たちも、企業の求める人間像や就職戦線の状況、就

職活動のポイント、ノウハウを聞いて、熱心にメモを取り、身を引き締めていた様子で、講演会終了後も個別質問するなど有意義な講演会となりました。

なお、1月下旬に教員・地方公務員、4月には国家公務員(国税専門官・労働基準監督官ほか)・警察官等の採用試験や任用制度などの説明会を予定しています。



▲熱心に聴き入る学生たち



▲模擬面接を受ける学生



▲体験発表をする卒業生

## 「富山大学における大学開放の在り方を考えるフォーラム」を開催

生涯学習教育研究センターでは、富山大学における大学開放の在り方に関して意見を求める懇話会設置に向け、生涯学習に関わる県内有識者及び諸団体の代表を招き、「富山大学における大学開放の在り方を考えるフォーラム」を去る11月26日(木)に黒田講堂会議室で開催しました。

フォーラムには、県・市教育委員会、県民カレッジ、生涯学習団体、経済界、婦人会、公開講座受講者、報道機関の代表者や本学関係者約40人が出席しました。

時澤学長から「大学開放に関わる各界の皆様の厳しい御注文や御提言をいただく機会として昨年に引き続き開催しました。」との挨拶に続き、山口松蔵氏(富山県立近代美術館長)から「富山県における生涯学習と大学への期待」と題した講演があり、その中で富山県の生涯学

習に欠けるもの、富山県の生涯学習での成功例、そして大学への提言として大学には研究と教育が突出し地域貢献が足りない、また大学が持つ頭脳の活用、市民へのPR等について話されました。

次いで、大学開放を推進するための協議会では、米田センター長から、本学が地域社会と如何に連携していくか、また、地域社会からの要望を如何に取り入れていくか、昨年と今年のフォーラムは、ネットワーク作りの準備であり、各界からの御意見をいただきたい旨の挨拶があり、出席者から各々の立場で大学開放の在り方、大学教員の情報公開と地域社会への積極的参加など具体的な意見が数多く出され、大学にとって大変有意義なフォーラムとなりました。



▲講演をする山口富山県立近代美術館長



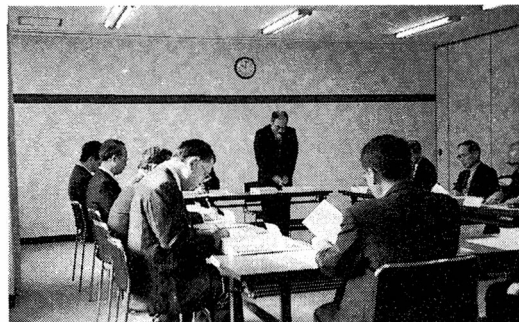
▲活発な意見交換が行われた協議会

## ◇ 富山県教育委員会との連絡協議会を開催（教育学部） ◇

教育学部では、富山県の教育の発展と教育水準の向上及び教員養成の充実等を図るため、富山県教育委員会との間で、連絡協議会を設置し、去る11月2日(月)に連絡協議会を開催しました。

協議会には、県教委から学校教育部長はじめ県総合教育センター所長など8人、大学からは教育学部長、学部評議員など7人が出席し、田中教育学部長と金井学校教育部長の挨拶に続き、大学側から教育学部改組計画の概要や新教育職員免許法への対応、また現職教員の再教育機能充実のための大学院改革の対応等について説明があり、県教委側からは多様化する教育現場の中で今後期待される教員像についての意見などが出され、課題ごとに活発な意見交換が行われました。

最後に、地域の教育の発展と教育水準の向上等を図るため、相互の共通理解のもとに密接に連携協力を推進することが確認されました。



▲活発な意見交換が行われた協議会

## 「ヘルン文庫」に関する公開講座を開設

附属図書館では、毎年9月に開かれている“夢大学 in TOYAMA”（富山大学大学開放事業）において、ヘルン（小泉八雲）文庫の一般公開を行っています。今年はこのヘルン文庫が、旧制富山高等学校開校を祝して設けられてから75周年にあたることから、富山市では同校跡地（現在は市立馬場記念公園）に『ヘルン文庫跡』という石碑を今年10月に建立し、地元マスコミがこのことを取り上げたこともあって、地域住民は高い関心を持つこととなりました。

このような時に、附属図書館が「小泉八雲と『ヘルン文庫』」と題して教養講座を開いたことは、正にタイムリーな企画であり、本学人文学部村井助教授から、4回にわたって講義が行われ、去る11月12日に最終講義があり、受講者各人に修了証が授与されました。受講者には83歳の高齢者もいて、生涯学習の模範生ということで関

係者が多くの感銘を受けました。講師の研究テーマに沿った話のほかに、図書館職員がヘルン文庫を紹介したり、八雲に関するビデオ鑑賞も盛り込まれた多彩な講義内容となり、受講者の満足気な様子に企画関係者はほっとしています。



▲熱心に聴講する受講者

## 「ヘルン文庫来富75年展」を公開

附属図書館では、去る11月4日(水)から6日(金)までの3日間にわたり、「ヘルン文庫来富75年展」と題してヘルン文庫を公開しました。

これは、職員文化週間にあわせて公開したもので、内容は、ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の所蔵していた文庫をはじめ、ハーンに関する文献の公開、パネルに

よるハーンの紹介などを行いました。

公開には、延べ約140人の見学者があり、見学者は、一般市民、学生をはじめ学内及び学外の大学関係者で、対応した図書館職員の説明を真剣に見聞きして、「富山大学にヘルン文庫あり」との認識を新たにされた有意義な公開となりました。

# 学 内 レ ク リ エ ー シ ョ ン

## <バドミントン大会>

平成10年度学内バドミントン大会が、去る10月27日(火)から11月19日(木)の約4週間にわたって本学第1体育館で行われました。

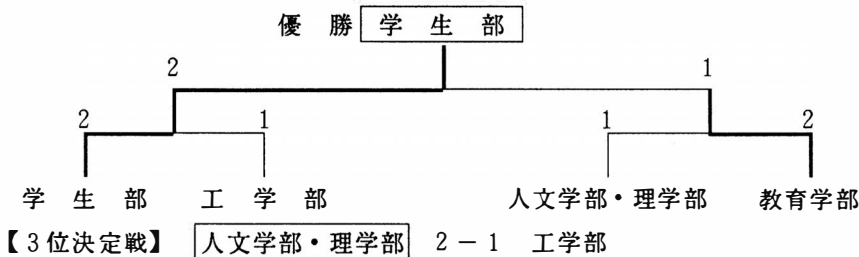
本大会は、団体戦で7チーム(56人)の参加があり、今年から参加しやすいように適宜昼休み時間に試合を行いました。最初に4チームと3チームに別れて予選リーグを行い、各リーグの1位と2位が決勝トーナメントへ進み、試合は十分期間をおいて行ったため、気力の乗った熱戦が繰り広げられました。

その結果、優勝候補に挙げられていた学生部が教育学部を2対1の接戦で下し、見事優勝しました。

なお、成績、対戦結果は次のとおりです。

- ☆ 優勝 学生部
- ☆ 準優勝 教育学部
- ☆ 第3位 人文学部・理学部

### ・決勝トーナメント対戦結果



## <卓 球 大 会>

平成10年度学内卓球大会が、去る11月20日(金)に本学第2体育館において行われました。

本大会には、本部A(経理部)、本部B(庶務部・学生部)、経済学部・附属図書館、教育学部、工学部A、工学部Bの6チームが参加して、予選リーグ、決勝トーナメントが繰り広げられ、晩秋の夜のひとときに心地よい汗をかいていました。

その結果、本部Aが教育学部を3対2で破り、見事2連覇を飾りました。

なお、成績は次のとおりです。

- ☆ 優勝 本部A
- ☆ 準優勝 教育学部
- ☆ 第3位 本部B

## ＜ボウリング大会＞

平成10年度学内ボウリング大会が、去る11月26日(木)に富山地铁ゴールデンボウルで行われ、男子54人、女子20人の合計74人が集い、男女が自由に4人一組となり計19チームにより熱戦が繰り広げられました。

本大会は、団体戦と個人戦で行われ、日ごろの成果を発揮しようとスイート・スポットを狙ってボウルを投げ、ストライクに歓声を揚げたり、また、ため息をついたり初冬の夕べのひとつときを楽しんでいました。

なお、成績は次のとおりです。

## 【団 対 戦】

- ☆ 優 勝 工 学 部 Ace (井澤真由美, 堀田裕弘, 高村浩之, 高野登) 1,184点
- ☆ 準優勝 経 済 学 部 A (戸川成弘, 山田知訓, 浦島布美子, 森田智) 1,132点
- ☆ 第3位 教 育 学 部 (永井昭光, 寺脇誠一, 塚田健夫, 細田和義) 1,124点

## 【男子個人戦】

- ☆ 優 勝 森 雅之(工 学 部) 327点
- ☆ 準優勝 戸川 成弘(経 済 学 部) 325点
- ☆ 第3位 小林 司(工 学 部) 310点
- ハイゲーム賞 北 治夫(経 理 部) 195点

## 【女子個人戦】

- ☆ 優 勝 井澤真由美(工 学 部) 330点
- ☆ 準優勝 串田小百合(附属図書館) 319点
- ☆ 第3位 長崎 宏美(人 事 課) 316点
- ハイゲーム賞 井澤真由美(工 学 部) 171点

## (海) (外) (渡) (航) (者)

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	人文学部	教 授	藤 本 幸 夫	ベ ト ナ ム	漢籍研究所における第2次ワークショップに出席, 研究交流	10.11. 1 } 10.11. 8
	〃	助教授	佐々木 重 洋	カ メ ル ー ン	エジャガム族等に関する調査等	10.11. 1 } 10.11.20
	教育学部 附属中学校	教 諭	陽 堅 友	カ ナ ダ ス ペ イ イ タ リ ア フ ラ ン ス	平成10年度国立大学・学部附属学校等教官海外教育事情等視察のため	10.11. 4 } 10.11.29
	工 学 部	教 授	佐々木 和 男	ア メ リ カ 合 衆 国	第28回北米神経科学会議に出席, 研究発表	10.11. 7 } 10.11.11
	経 済 学 部	教 授	森 岡 裕	ロ シ ア 連 邦	「環日本海地域における開発と環境に関する調査研究」に関する資料収集	10.11.10 } 10.11.13
	理 学 部	助教授	栗 本 猛	ア メ リ カ 合 衆 国	衝突実験用測定器の開発	10.11.11 } 10.11.16

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	工学部	助教授	松 郷 誠 一	ア メ リ カ 合 衆 国	フリーラジカル細胞系からの発生計 量法の確立に関する調査研究	10.11.16 ) 10.12.23
	教育学部	教 授	相 馬 恒 雄	イ ン ド	インド中央構造帯に関する情報収集	10.11.24 ) 10.12. 5
	理学部	助 手	宮 崎 隆 文	ア メ リ カ 合 衆 国	「選択酸化触媒に関する研究」につ いての研究打合せ及び資料収集	10.11.27 ) 10.12.10
海外研修	教育学部	助教授	堀 田 朋 基	フ ィ ン ラ ン ド	伸張-短縮サイクル運動の疲労に関 する調査	10.11. 4 ) 10.11.21
	経済学部	助教授	澤 井 啓	ア メ リ カ 合 衆 国 フ ラ ン ス 国 連 合 王 国	紛争処理機関の実態と普及促進に関 する調査研究	10.11.14 ) 10.11.29
	工学部	講 師	佐 竹 信 一	ア メ リ カ 合 衆 国	第51回アメリカ物理学会流体力学部 門DFD98に出席, 研究発表	10.11.21 ) 10.11.25

## ( 外 ) ( 国 ) ( 人 ) ( 来 ) ( 訪 ) ( 者 )

氏 名 ( 国 籍 )	本国における 所属機関・職名	来 学 目 的	本学受入れ先	期 間
V.Mats (ロシア)	イルクーツク陸水学研 究所教授	共同研究の打合せのため	理学部・助教授 酒 井 英 男	10.11.12 ) 10.11.17
H.A.Bern (アメリカ)	カリフォルニア大学パー クレー校教授	研究打合せのため	理学部・教 授 内 山 実	10.11.15 ) 10.11.16

## 職 員 消 息

### <住所変更>

部 局 名	官 職	氏 名
教 育 学 部	教 諭 (附属養護学校)	脊 戸 みちる
理 学 部	助 手 (生物圏機能)	蒲 池 浩 之
工 学 部	文 部 技 官 (応用化学)	平 田 暁 子
〃	事 務 補 佐 員 (電子物性デバイス工学)	嶋 由香里

### <改 姓>

部 局 名	官 職	氏 名	旧 姓
工 学 部	文 部 技 官 (応用化学)	平 田 暁 子	岩 城

# 主 要 行 事

## 本 部

- 11月 4日 第1回大学改革推進委員会教員人事専門委員会  
富山県大学長懇話会（富山医科薬科大学）
- 4日～6日 平成10年度教職員文化展
- 5日 第1回将来計画委員会ワーキンググループ会議  
在宅介護支援事業に関する連絡会議（名古屋  
合同庁舎）
- 5日～6日 平成10年度東海・北陸地区国立学校等安全管  
理協議会（グランパレホテル）
- 6日 五福地区構内交通規制に関する実施要項見直  
し小委員会
- 9日～11日 北陸地区国立学校等人事事務研修（金沢大学）  
平成10年度厚生補導事務研修会（国立オリ  
ンピック記念青少年総合センター）
- 10日 第1回開学50周年記念事業委員会記念講演会・  
記念事業実行委員会  
第1回大学改革推進委員会管理運営専門委員会
- 10日～13日 北陸地区国立学校等監督者研修（辰口共同研  
修センター）
- 11日 第10回国際交流委員会留学生部会  
就職に関する講演会
- 11日～12日 国立大学協会第103回総会（学士会館）
- 11日～13日 第52回中部地区中堅係員研修（国民年金保養  
センター「のと」）
- 12日 国立大学長懇談会（学士会館）  
第1回大学改革推進委員会情報公開専門委員会
- 13日 国立大学協会第70回事務連絡会議（学士会館）  
第2回廃液等問題検討委員会  
第2回富山広域学習サービス連絡会議（教育  
文化会館）
- 14日 学長補佐体制検討ワーキンググループ第1回検討会
- 16日 第2回大学改革推進委員会教員人事専門委員会  
第6回教養教育委員会企画専門委員会  
行政財産使用状況実態調査  
奨学事務協議会（名古屋国際会議場）
- 17日 第2回将来計画委員会ワーキンググループ会議  
事務改善検討委員会  
就職に関する講演会
- 17日～20日 平成10年度東海・北陸地区国立学校等係長研  
修（むらくし荘 浜松）
- 18日 第2回大学改革推進委員会管理運営専門委員会  
日本育英会奨学金返還説明会
- 18日～20日 平成10年度国立学校等幹部職員研修（部長級）  
（国立教育会館）
- 19日～20日 平成10年度長期給付実務研修会（KKR HOT

EL KANAZAWA)

- 20日 第1回開学50周年記念事業委員会記念式典・  
祝賀会実行委員会  
北陸地区大学学生部懇話会（富山国際大学）  
学内卓球大会
- 24日 第4回教養教育委員会実施専門委員会
- 25日 平成11年度入学者特別選抜入学試験（人文  
学部を除く）  
学長補佐体制検討ワーキンググループ第2回検討会  
就職に関する講演会
- 25日～26日 平成10年度服務制度等説明会（名古屋合同庁舎）
- 25日～27日 東海・北陸・近畿地区国立大学等国際交流担  
当職員研修（神戸大学）
- 26日 五福地区構内一斉清掃  
学内ボウリング大会（富山地鉄ゴールデンボウル）
- 27日 第7回教養教育推進特別委員会  
第4回自己点検評価委員会研究活動等専門委員会  
第3回廃液等問題検討委員会  
富山県留学生等交流推進会議（名鉄トヤマホテル）  
第2回開学50周年記念事業委員会記念講演会・  
記念事業実行委員会
- 30日 第3回大学改革推進委員会教員人事専門委員会  
全国就職指導ガイダンス（京都産業大学）  
就職に関する講演会

## 人 文 学 部

- 11月 6日 学部特別昇給委員会  
学部学生生活委員会
- 11日 学部学生生活委員会
- 12日 学部入学者選抜方法検討委員会
- 13日 学部国際交流委員会  
学部将来計画委員会
- 16日 学部教務委員会
- 18日 教授会  
教授会（人事）
- 20日 学部特別昇給委員会
- 25日 学部紀要委員会
- 27日 学部予算委員会

## 教 育 学 部

- 11月 1日 附属養護学校学習発表会
- 2日 富山県教育委員会と富山大学教育学部との連  
絡協議会
- 4日 学部教務委員会

- 就職指導委員会  
 予算委員会  
 学部安全管理委員会  
 5日 学部入学試験委員会  
 附属養護学校避難訓練  
 9日～20日 附属養護学校及び附属幼稚園入学(園)願書受付  
 10日 学生生活委員会  
 11日 学部教務委員会  
 教授会  
 人事教授会  
 12日 日本教育大学協会新課程連絡協議会(北海道教育大学)  
 17日 附属中学校校内合唱コンクール(富山県民会館大ホール)  
 18日 学部教務・学生生活合同委員会  
 19日 附属小学校創校記念音楽会(富山県民会館大ホール)  
 24日 カリキュラム委員会  
 紀要編集委員会  
 附属中学校・事務室避難訓練  
 25日 学長と教育学部との懇談会  
 27日～28日 3年次合宿研修(国立立山少年自然の家)

### 経 済 学 部

- 11月 9日 学部入学試験委員会  
 11日 人事教授会  
 教授会  
 13日 平成10年度夜間主コース設置大学学部長会議(KKR HOTEL TOKYO)  
 18日 学部就職指導委員会  
 博士課程設置検討委員会  
 20日 平成10年度秋季国立12大学経済学部・経営学部学部長及び事務長会議(メルパルク TOKYO)  
 生涯学習・広報委員会  
 30日 情報処理委員会

### 理 学 部

- 11月 4日 学部教務委員会・学部就職指導委員会合同委員会  
 11日 理工学研究科博士前期課程理学部会  
 教授会  
 教授会(人事)  
 18日 学部教務委員会  
 26日 学部入試改善委員会  
 27日 学部予算委員会

### 工 学 部

- 11月 2日 学生生活委員会  
 5日 入学試験検討委員会

- 11日 教授会  
 工学研究科博士後期課程委員会  
 専任教授会  
 理工学研究科博士前期課程工学部会  
 理工学研究科博士後期課程部会  
 16日 工場運営委員会  
 19日 外国人留学生委員会  
 24日 学部運営委員会  
 26日 機器分析センター運営委員会  
 30日 機器分析センター運営委員会

### 附 属 図 書 館

- 11月19日 北信越地区国立大学附属図書館事務部課長会議(石川ハイテク交流センター)  
 20日 平成10年度大学図書館に関する文部省ヒアリング(北陸先端科学技術大学院大学)

### 地 域 共 同 研 究 セ ン タ ー

- 11月10日 大学院生教育講座  
 18日 経営者研究者交流会  
 19日 大学院生教育講座  
 先端技術研修講演会(演題:超音波の化学効果—化学分析と化学合成への利用—,  
 講師:東京工業大学大学院総合理工学研究科教授野中勉氏)

### 生 涯 学 習 教 育 研 究 セ ン タ ー

- 11月 5日～6日 第20回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会(宮崎大学)  
 24日 第1回公開講座専門委員会  
 26日 富山大学における大学開放の在り方を考えるフォーラム

編 集 富山大学庶務部庶務課  
 富山市五福3190  
 印刷所 あけぼの企画株式会社  
 富山市住吉町1丁目5-18  
 電 話 (24)1755(代)